

4月 家庭防災の日

危険なところはないかな？ わたしの通学路

今月は、通学路の危険箇所の確認をする月です。

通学路で危険にあわないためには、早めに危険を察知して、回避することがとても大切です。新年度の始まりにあたって、通学路で特に注意したい場所や安全のためのポイントをおさらいしておきましょう。

通学路にある「交通事故が起きやすい場所」を把握してください。

<危ないのはココ！ 慎重な安全確認が必要な場所>

- ・ 交差点
- ・ 見通しが悪い十字路や丁字路
- ・ 信号がない横断歩道
- ・ 横断歩道や信号がない通り

👉 これらの場所では、車が見えたら渡らずに待つようにしましょう。

登校の時間帯は、急いでいる車が多く、子どもが思う以上にスピードが出ていることがあります。また、日が傾きはじめる下校の時間帯も、距離感やスピードを見誤ることが多く、事故が多発しています。

もうひとつ、事故を減らすために大切なのは、運転席から見てどこが死角になるのか、具体的に知ることです。

車が止まっても、運転者が自分を見ているか、**目を合わせて**確認します。車高の高い車だと、運転者から子どもの姿が見えていないこともあります。必ず自分の目で運転者の視線の行先を確かめましょう。

手を上げるなどして存在をアピールすると、より安心です。車に近づきすぎると死角に入ってしまうので、車のすぐ前を渡るのもやめましょう。

